
分岐した大魔導士の行方

まどか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

分岐した大魔導士の行方

【Nコード】

N5090Z

【作者名】

まどか

【あらすじ】

ダイが主人公とか……まさか

この物語はポップが作者の妄想によって最強になっちゃうSSです。もっと言うとダイの大冒険の皮すら被る気がさらさらないポップ（魔改造）の大冒険でお送りします。

作者は執筆が遅いし誤字脱字に何も考えてない時が大半なので謝っておきます

第1話

「知ってるか大魔王

俺には2つ手がある…」

「そなたはよく頑張った、人の身でありながらこの大魔王を驚かせたのだから」

「いいから聞けよ…」

「1つは俺の中の魔力を暴走させて魔力をすべて解き放つ超魔術」

「ポップ!!」

「大丈夫だ。メガンテを撃つわけじゃないからな」

「メドロアを超える魔法だとしても天地魔闘の構えがある限り我に傷を付けることなどでくぬぞ」

「それも大丈夫だ。こいつはココとは違う世界に存在する魔法だ。耐えることは出来でもって防ぐことは出来ない」

「!?!?」

「耐えられる可能性もある訳だ

そして

2つめは

ここにあるハドラーの魂と

俺の魂を一つにして

人と魔を合わせた半人半魔になる」

「『『『『!!?』』』』」

すまねえな、ダイ、先生、　そしてみんな

ここでダイに死なれちゃダメなんだ

「大魔王を倒しても　まだ魔界にはバーンに並ぶ魔王がこの地上を
滅ぼそうと企んでやがるんだ

だから、ダイ!!」

「ポップ!」

「後の事は任せませ」

行くぜ、ハドラーのオッサンよ
俺の身はどうなってもいいんだ
だから

あんたの力、俺に力を貸してくれ

死んだはずのオッサンの魂がなんで俺の手元にあるんだって？
たいした事じゃないさ

キルバーンの罠から脱出した後にきずいたら背後霊みたいに俺の後
ろに人魂がいやがった

オッサンはそんなに俺の事が心配なのかね？

ならよ、オッサンの心配事をなくすために力を借りるぜ

「決着付けようぜ、大魔王さんよ」

「!!!!」

遅いぜ、後ろだ

「俺とオッサンが合わさった程度で、とか思ってたんだろ？」

よく覚えとけ！魂を会わせるとな足し算じゃなくてかけ算になるんだよ!!!」

振り下ろした俺の拳は大魔王の角をへし折った

「ふっ、ふざけた真似を」

「これで仕舞いだぜ

メドローア!!!」

「ゲウワアアアアア」

「一瞬でも時間があれば今の俺ならメドロアを簡単に撃てちまう
さようならだ 大魔王」

「…ポップ」

「ダイ、すまねえ」

「なんでこんな事を」

「それはさっきも言ったろ？この地上には勇者が「そうじゃないよ
そうじゃないんだよ」

「なんかさ、今の俺の姿

大魔王バーンみたいだな」

「……………」

「それじゃあ、俺行くわ」

「どこに行くのポップ!!!?!」

「わかんねえ、けど　なんか呼ばれてるんだ

ダイ、みんなの……　マアムの……　頼んだからな」

「ポッポー」

第1話（後書き）

眠れなくて 妄想してたら書いてた… 眠れない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5090z/>

分岐した大魔導士の行方

2011年12月17日07時52分発行